

総会報告

■NPO法人愛知スポーツ倶楽部 平成26年度9月理事会開催

去る平成26年9月25日(木)18時30分より表示灯(機)9F小会議室において、NPO法人愛知スポーツ倶楽部の理事会が開催されました。ご多忙中にも関わらず高岡次郎副会長をはじめ、委任状含め24名の出席者を得て、神戸理事長による議事進行のもと執り行われました。ご出席頂きました理事及び監事の皆様には厚く御礼を申し上げます。

今回は、報告事項として、①平成26年7月1日付での今井敏博氏の理事辞任について。②トップチームにおいてはチームスタッフの変更として平成26年8月25日付でこれまで監督を務めました神戸理事長が総監督に就任し、新たに天理大学女子ホッケー部監督などを歴任した鹿野育郎氏が監督に就任したことが報告されました。そして、理事会に同席した鹿野氏より監督就任の挨拶が述べられました。

その他、8月に行われました全日本中学生ホッケー選手権大会での中学生会員の活躍ぶりを中心としたホッケー普及活動報告や、10月の名古屋まつり及び11月のスポーツイベントへのトップチーム選手の広報交流活動計画も発表されました。



2014年度公式戦スケジュール

■高円宮杯 2014ホッケー日本リーグ

期間：2014年7・10・11・12月

会場：福井(越前町宮朝日総合運動場) 奈良(親里ホッケー場) 京都(立命館大学野野ホッケー場) 福島(ルネサンス棚倉多目的広場) 富山(富山県総合運動公園) 富山(小矢部市ホッケー場) 埼玉(飯能市阿須運動公園ホッケー場) 山梨(山梨学院ホッケースタジアム)

節	日	期間	会場	試合開始	対戦相手	試合結果
第1節	第1日	7月12日(土)	福井	10:00	福井クラブ	○3-2
	第2日	7月13日(日)	福井	14:00	岐阜朝日クラブ	○5-1
第2節	第3日	10月11日(土)	奈良	12:40	ALDER飯能	
	第4日	10月12日(日)	京都	13:20	立命館大学ホリーズ	
第3節	第5日	10月25日(土)	宮城	12:40	東京農業大学	
	第6日	10月26日(日)	福島	11:40	山梨学院OCTOBER EAGLES	
第4節	第7日	11月8日(土)	富山	11:00	小矢部RED OX	
	第8日	11月9日(日)	富山	11:40	法政大学	
第5節	第9日	12月13日(土)	埼玉	14:20	Selrio島根	
	第10日	12月14日(日)	埼玉	11:40	診療印刷	
第6節	最終日	12月21日(日)	山梨	13:50	天理大学ベアーズ	

■男子第56回全日本社会人ホッケー選手権大会

期 間：2014年7月18日(金)~7月23日(水)

開催地：和歌山/紀美野町スポーツ公園多目的人工芝グラウンド マツダスポーツグラウンド

試合結果	対戦相手
7月20日(日) 2回戦 名古屋フラーテル ○6-0	樋脇ホッケークラブ
7月22日(火) 準々決勝 名古屋フラーテル ○5-0	小矢部RED OX
7月22日(火) 準決勝 名古屋フラーテル ○2-1	ALDER 飯能
7月23日(水) 決勝 名古屋フラーテル ○2-1	箕島ホッケークラブ

■第35回東海ブロック大会兼第69回国民体育大会東海地区予選

期 間：2014年8月23日(土)、24日(日)

開催地：岐阜/岐阜県グリーンスタジアム

試合結果	対戦相手
8月23日(土) 準決勝 愛知(名古屋フラーテル) ○16-1	静岡県
8月24日(日) 決勝 愛知(名古屋フラーテル) ○3-0	岐阜県

■第69回国民体育大会ホッケー競技

期 間：2014年10月16日(木)~10月21日(火)

開催地：長崎/長崎県立佐世保青少年の天地プレイグラウンド 川棚大崎自然公園交流広場

■第88回全日本ホッケー選手権大会

期 間：2014年11月21日(金)~24日(月・祝)、12月6日(土)~7日(日)

開催地：奈良/親里ホッケー場

次号Vol.24は
12月頃発行予定

国民体育大会速報
日本リーグ結果
... e t c



私たちは toto 助成を受けています。

FRATER FAMILY ONLY for MEMBERS

http://www.frater.or.jp/



Vol.23



FRATER FAMILY

2014年度GAMEプレビュー
NEWS & TOPICS
ホッケー普及プロジェクト
理事会報告
2014年度公式戦スケジュール

Vol.23
2014.10

ONLY for MEMBERS



●発行元：特定非営利活動法人愛知スポーツ倶楽部 ●発行人：神戸 勝
●事務局：〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目2-11 ナビタ名灯ビル
●編集人：安井妙子 ●監修：錦織 拓 ●愛知スポーツ倶楽部HP：http://www.aichisportsclub.com/
●メール：info@aichisportsclub.com ●名古屋フラーテルHP：http://www.frater.or.jp/

©AICHI SPORTS CLUB ©NAGOYA FRATER HOCKEY TEAM
この冊子に掲載されている全ての情報(文字、写真、イラスト等)及び全体は編集著作物として著作権の対象となっています。許可無く引用・転載複製を行うことを禁じます。

社会人選手権 2回戦 2014年7月20日(日) VS 樋脇ホッケークラブ (和歌山・紀美野町スポーツ公園多目的グラウンド)



名古屋フレーターホッケーチーム **6** {前半 2-0} {後半 4-0} **0** 樋脇ホッケークラブ

社会人選手権初戦は、1回戦で山形クラブを破った、樋脇ホッケークラブとの対戦。開始3分、#17橋が右サイドからドリブルで攻め込みPCを奪うと、#16島山のフックシュートのリバウンドボールを#11川上啓が押し込んで先制、幸先良いスタートを切る。その後もフレーターは巧みなパス回しとドリブルで樋脇を翻弄する。26分には#10山部のパスを#9藤本が上手く合わせて2-0で前半終了。後半に入ると、42分に#6河内、43分に#10山部と立て続けに得点を重ね、4-0とリードを広げる。その後、#2川上良平も追加点を挙げて5-0とし、試合終了間際には新人#23柳本がサークルトップから豪快なヒットシュートで初ゴールを決め、6-0で準々決勝へと駒を進めた。



社会人選手権 準々決勝 2014年7月22日(火) VS 小矢部RED OX (和歌山・日高町マツゲンスポーツグラウンド)



名古屋フレーターホッケーチーム **5** {前半 3-0} {後半 2-0} **0** 小矢部RED OX

青のユニフォームで臨んだ準々決勝は、富山の強豪小矢部RED OXとの対戦。12分#17橋が強烈なヒットシュートを決め、先制点を挙げる。小矢部はフレーターOB坪内を中心に攻撃を組み立てるが、フレーターは安定した守備で得点を許さない。24分#11川上啓がサークル中央からダイレクトシュートを決め2-0とし、前半終了直前の35分には#6河内がゴール右上に鋭いシュートを決め、3-0で前半終了。後半、フレーターは持ち前の走力を生かして、小矢部を更に突き放しにかかる。47分、#17橋のゴールネットを突き刺す豪快なヒットシュートで4点目を挙げて、54分には#12吉原からのパスを#11川上啓がタッチシュートで決め、5-0。このまま試合は終了し、危なげなく準決勝進出を決めた。



社会人選手権 準決勝 2014年7月22日(火) VS ALDER飯能 (和歌山・日高町マツゲンスポーツグラウンド)



名古屋フレーターホッケーチーム **2** {前半 1-1} {後半 0-0} {延長 1-0} **1** ALDER飯能

準決勝は、ALDER飯能との対戦。両者とも午前中に行われた準々決勝に続きダブルヘッダーである。開始4分飯能の北里にリバウンドボールを決められ、先制を許すが、直後の5分に#12吉原がヒットシュートを決めて、1-1とする。後半に入ってフレーターの動きにもキレが戻り、シュートチャンスも度々巡ってくるが、ゴールの枠は捉え切れぬまま後半が終了。7分30秒前半の延長戦にもつれこむ。ゴールが決まった時点で試合終了となるVゴール方式だ。両者けが人も多く、総力戦で延長戦に臨む。延長前半では勝負がつかず、延長後半へ。そして延長終了間際、#3粥川からの打ち込みを#9藤本がタッチシュートで決め、試合終了。85分に渡る激闘を制して、決勝進出を決めた。



社会人選手権 決勝 2014年7月23日(水) VS 箕島ホッケークラブ (和歌山・紀美野町スポーツ公園多目的グラウンド)



名古屋フレーターホッケーチーム **2** {前半 0-1} {後半 2-0} **1** 箕島ホッケークラブ

決勝は、3年連続同カードで箕島ホッケークラブとの対戦。天候は高温多湿の上、強い日差しが照りつける厳しい環境下での試合となる。前半、フレーターペースで試合は進むが、決定的なチャンスを掴めない。ここで一瞬の隙を突く箕島のロングパスが前線に繋がり、先制点を決められ、0-1で前半終了。後半激しい攻防が続くが、徐々に箕島のペースが落ちる。一方でフレーターは選手交代を有効に使い、縦横無尽にコート走り回る。そしてPCから#14長澤が打ち込んだボールに#6河内が飛び込み、鮮やかなタッチシュートを決めて、1-1。更にゴール前の混戦から#9藤本が決め、2-1とし、試合終了。激戦が続いたが、無事11年連続27回目の優勝を果たし、2014年度一つ目のタイトルを獲得した。



NEWS & TOPICS

地域密着型スポーツ雑誌に登場!

9月5日(金)に発売となりました、愛知発のローカルスポーツ専門誌『Standard愛知』へフレーターに関する記事が掲載されました。

愛知県内のトップスポーツチームを紹介するコーナー「Top Sports Now」においてカラー4ページにわたって

チームの成り立ちや今シーズンの目標である国内四冠に懸ける思いが、選手の迫力あるプレー写真と共に綴られています。また、アスリートの人間関係からその選手の人生を紐解くコーナー「Sports is Life つながリスト」では#9藤本選手が取り上げられています。その他にも高校総体ホッケー競技の東海ブロック予選で#18井島選手の母校愛知産業大学工業高校や名古屋商業高校も紹介されています。

ホッケーが一般の雑誌で堂々と取り上げられることはまたとないチャンスです。是非愛知県内のサークルKサンクスや書店にてお買い求めください。

◆書籍情報

・書名: AICHI Sports Magazine "Standard愛知"

・HP: <http://aichistandard.jp/>

・出版社名: 中経総発印刷株式会社

・販売価格: 850円(税込)

HOCKEY JAPAN LEAGUE 第1節 2014年7月12日(土) VS 福井クラブ (福井・越前町営朝日総合運動場)



名古屋フレーターホッケーチーム **3** {前半 2-0} {後半 1-2} **2** 福井クラブ

高円宮杯2014ホッケー日本リーグ男子の開幕戦は、ホームである福井クラブとの対戦。開始からフレーターは優位に試合を進め、PCを連続で3本獲得するが、地元の大応援を背に戦う福井の堅守により、得点を奪うことはできない。22分相手GKが弾いた右からのセンターリングのリバウンドを主将#17橋が決め先制すると、28分には#9藤本からパスを受けた#4小野が決め、前半を2-0で折り返す。後半に入ると、全員守備で応戦する福井からフレーターは追加点を奪えない。57分福井にカウンターから1点を返され、2-1。直後の59分、#17橋が確実に得点を決め、すぐさま3-1と突き放す。しかし、終了間際の68分にPSを与え、これを決められて3-2で試合終了。開幕戦をなんとか白星で終えた。



HOCKEY JAPAN LEAGUE 第1節 2014年7月13日(日) VS 岐阜朝日クラブ (福井・越前町営朝日総合運動場)



名古屋フレーターホッケーチーム **5** {前半 1-1} {後半 4-0} **1** 岐阜朝日クラブ

第2戦は、手の内を知り尽くしている岐阜朝日クラブとの対戦。蒸し暑い小雨の中開始された試合は、10分#1中山が左からの華麗なドリブルシュートで先制点を決め、チームを勢い付ける。しかし、12分に岐阜に右からパスで崩され、1-1となり、試合は振出しに戻る。前半は両チーム共に好機を逸し、1-1のまま前半を終える。後半に入ると、試合は激しさを増す。39分#11川上啓が相手GKの弾いたボールを押し込んで2-1とリードする。続く、45分新人#21竹中のスウィープの打ち込みにも#9藤本が合わせて3-1。46分には#2川上良平がこぼれ球を押し込み4-1、65分にも#17橋がこぼれ球に反応し5-1。後半は前半の勢いを晴らすかのように躍動し、5-1で、開幕2連勝を飾った。



長崎がんばらば国体 出場決定!

去る8月23日(土)、24日(日)岐阜県グリーンスタジアムで行なわれました東海ブロック大会兼国民体育大会予選に於いて、愛知県代表として出場した名古屋フレーターは、見事優勝を果たし、10月に行なわれる長崎国体本戦への出場権を獲得いたしました。多くの皆様の声援を頂き、誠にありがとうございました。長崎国体の結果は次号で報告いたします。

8月23日(土) 【準決勝】 愛知県 16 {前半 7-1} {後半 9-0} **1** 静岡県

8月24日(日) 【決勝】 愛知県 3 {前半 3-0} {後半 0-0} **0** 岐阜県

長崎がんばらば国体 マスコット「がんばりん」

※イメージ写真

ホッケー普及プロジェクト 目指せ! 明日の日本代表選手!

大会期間中は変わりやすい天候で連日荒れ模様となりました。出場チームは全24チームで、3チームによる予選リーグを勝ち抜いた上位2チームが決勝トーナメントに駒を進める形式。予選リーグは、第1試合で東北ブロック4位栗原西と4対4、第2試合で近畿ブロック4位伊吹山と1対3、0勝1敗1分勝ち点1で伊吹山に次いでなんとか2位につけ愛知勢初の決勝トーナメント進出を決めました。

決勝トーナメント1回戦は強豪横田との対戦。前半に先制を許すとそのまま立て続けに得点され前半を0対3で終えました。後半は開始から愛知ペースで試合を進め、1点を返しましたが、速攻を確実に決められ1-5と離され、終了間際に一矢報い2-5とするがそのまま試合は終了。

後半は敵陣でプレーする時間帯が長く、PCも何度となく獲得しましたがGKを中心とした堅守に阻まれ、思うように得点を重ねることができませんでした。やはり全国大会の壁は厚く、「1勝」が遠く感じました。しかし、多くの選手が全国のレベルを肌で感じる事ができたので、11月の都道府県対抗11人制大会ではきっとこの雪辱を果たしてくれることでしょう。

また、大会開会式にはゆるキャラブームを巻き起こした「くまもん」が登場するサプライズ演出で、会場は大いに沸きました。さらには#10山部選手の母校である地元小国高校の男女ホッケー部の皆さんが参加チームに分散し、中学生選手を応援歌で盛り上げるという、大変心温まる大会となりました。

8月の全国大会までの1ヶ月は、猛暑の中、個人技能・フィジカルの強化、戦術の理解・実戦に力を注ぎました。そして迎えた全日本中学生ホッケー選手権大会。今年は8月15日(金)から4日間をかけて世界最大級のカルデラを持つ阿蘇山の麓、熊本・阿蘇郡小国町で開催されました。

